【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和6年7月10日(2024.7.10)

【公開番号】特開2023-16224(P2023-16224A)
【公開日】令和5年2月2日(2023.2.2)
【年通号数】公開公報(特許)2023-021
【出願番号】特願2021-120402(P2021-120402)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/175(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　2/175115
Ｂ４１Ｊ　2/175119
Ｂ４１Ｊ　2/175141
Ｂ４１Ｊ　2/175151
Ｂ４１Ｊ　2/175169
Ｂ４１Ｊ　2/175143

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月2日(2024.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
プリンターに供給する液体を再充填可能な液体収容容器であって、
液体収容部を画定する袋と、
前記袋の端部が取り付けられ、液体供給口を有する液体供給口部材と、
前記液体供給口部材に設けられ、前記液体収容部と前記液体供給口とを液体流通させる液体供給流路と、
前記液体供給口部材に設けられ、前記液体供給流路から分岐して設けられた液体充填流路と、
前記液体供給口部材に設けられ、前記液体充填流路に流体連通し、前記袋の内面に対向する連通口と、
を備え、
前記袋は、
前記液体が前記液体収容部から前記液体供給流路を経由して前記液体供給口に向かって流れることにより、前記袋が前記連通口の周縁部に接触して前記連通口を閉じ、
前記液体が前記液体供給流路から前記液体充填流路に流入し前記連通口に向かって流れることにより、前記袋と前記周縁部との間に隙間を形成し、前記隙間が前記連通口を介して前記液体収容部と流体連通する、
ように前記液体供給口部材に取り付けられている、
液体収容容器。
【請求項２】
請求項１に記載の液体収容容器において、
前記液体供給口部材を前記袋の前記端部を介して支持する第１支持部を、さらに備え、
前記連通口は、前記液体収容容器が前記プリンターに装着された装着状態では下方を向くように配置され、

前記第１支持部は、前記装着状態において、前記連通口の下方から前記液体供給口部材を支持し、前記袋を前記周縁部に当接させる、液体収容容器。

【請求項３】

請求項１または請求項２に記載の液体収容容器において、

前記液体供給口部材を前記袋の前記端部を介して支持する第１支持部および第２支持部を、さらに備え、

前記第１支持部は、前記袋を介して前記連通口と対面し前記連通口の前記周縁部に前記袋を当接させるように前記液体供給口部材を支持し、

前記第２支持部は、前記連通口に対し前記第１支持部とは反対側から前記周縁部を前記袋に当接させるように前記液体供給口部材を支持する、液体収容容器。

【請求項４】

請求項１から請求項３までのいずれか一項に記載の液体収容容器において、

前記液体供給流路と前記液体充填流路との分岐位置と、前記液体収容部と、の間に配置された逆止弁を、さらに備え、

前記逆止弁は前記液体収容部から前記液体供給口に向かう前記液体の流れを許容し、前記液体供給口から前記液体収容部に向かう前記液体の流れを規制する、液体収容容器。